

パイプシステム通信

No.24

2025年5月（隔月発行）

春の風物詩のひとつである「潮干狩り」。干潮時に海辺の砂浜で貝などを掘って採取するレジャーですが、江戸時代から親しまれていたのをご存知でしょうか。

江戸末期の年中行事記『東都歳時記』には、潮干狩りは旧暦3月3日頃（現在の4月から5月ごろ）がよいと記されています。当時の潮干狩りは、潮が引き始める朝から船で沖に出て、正午ごろ海底が陸地になったら船から降り、アサリやハマグリなどを拾ったり、時には小魚やヒラメを捕って、その場で調理して宴を催したそうです。

皆で安全に楽しめるレジャーとして、現代にも受け継がれているのもいいですね。

パイプシステム通信 編集部

国土交通省策定 「上下水道DX 技術カタログ」

国土交通省が策定する「上下水道DX技術カタログ」に当事業部が開発した「AI老朽度評価」、**“適正工事発注グルーピング手法”**、**“残留塩素濃度管理システム”**、**“圧送管路調査機器CSカメラ「スネークくん」”**の4つが掲載されました。

弊社ホームページでもご紹介しております。下記URLから是非ご覧ください。

<https://www.kubota.co.jp/product/ironpipe/topics/post1.html>



施工情報システムⅡ バージョンアップのお知らせ

スマホアプリから接合情報を入力するだけで継手チェックシート、工事日報、管割図、材料集計表を自動で作成し、誰でも簡単に正確な施工管理ができる施工情報システムⅡに新たな機能を追加しました。

2025年1月から販売を開始したGX形管（呼び径500～1000）※1を対応管種に追加し、施工管理できるようになりました。

さらに、配水用ポリエチレン管の施工管理では、融着機※2から施工情報システムⅡに施工管理データの一部を自動で取り込める機能を追加しました。Bluetooth通信で継手接合ごとに融着作業結果および融着通電終了時刻をチェックシートに自動反映させることができます。取得した通電終了時刻から、冷却時間を自動算出し、施工管理レベルを向上します。

※1 現在、製造販売をしているのは、呼び径500・600のみとなります。

※2 Bluetooth連携機能を使用するには西尾レントオール社製の融着機（型番：NTEF500a）が必要となります。

また、施工管理した継手番号と紐付けされた融着履歴データは、専用のWEBページからダウンロードすることもできます。

豊富なラインアップでバージョンアップした施工情報システムⅡにご興味がありましたら、お気軽に弊社営業担当者までご連絡ください。



融着履歴データ
Bluetooth通信

NTEF500a

配水用ポリエチレン管
接合チェック画面



施工情報システムⅡ採用

at 静岡県御殿場市

御殿場市における配水用ポリエチレン管の布設工事で、販売店より紹介を受けた施工情報システムを活用しました。初めてのシステムであり操作に不安もありましたが、メーカーのサポート体制も充実しており、スムーズに利用することができました。事業体には、自動作成された成果品を竣工書類として受領していただき、書類作成業務の効率化を実感しました。

また、当システムを周知することで持続的な水道事業運営へ貢献できると考え、クボタの協力の元、御殿場市水道工事業協同組合員向けに説明会を開催しました。説明会では実管を用いたデモを行い、施工情報システムの有効性を組合員にも共有することができました。

今後も継続的な機能拡張等により、業務効率化や施工品質向上に一層効果的なシステムになることを期待しています。

<静岡県御殿場市 有限会社杉山工事店 取締役 杉山勝哉 様>



工場見学や研修などに参加

at クボタ京葉工場

当協議会では市民と行政が一体となって習志野市の「質の高いインフラ」を支える知識および技術の向上を図ることを目的に定期的に技術研修会を行っています。

今年度研修第1回目として4月11日に、株式会社クボタの京葉工場（千葉県船橋市）にて、「ダクタイト耐震管の施工管理の留意点」について座学に加えて、GX形耐震管の接合実技研修を受講しました。上水道工事に加え土木や建築工事をメインにしている参加者もあり「災害に強い耐震管」の構造や特性についての幅広い知識を習得することができ有意義な実習になりました。

また、ダクタイト鉄管は、私たちの重要なライフラインを支えている水やガスを送る重要な役割をしていますが、普段は地中に埋設されており、どのように製造されているか知る機会がありませんでしたが、今回、ダクタイト耐震管の迫力ある製造工程を見学する機会もありました。品質管理について詳細な説明を聴くこともでき大変有益な時間となりました。



<習志野市インフラ協議会>